



Sainokuni Higashiomiya Medical Center

彩の国東大宮メディカルセンター
研修医募集案内





Sainokuni Higashiomiya Medical Center



医療人としての第一歩を
ここから始める



医療人としての第一歩を 充実した環境・教育体制の下で



院長 藤岡 丞

2019年1月1日付で院長を拝命しました藤岡と申します。坂本前院長の志を引き継ぎ、「患者さんも職員も笑顔になれる病院」を目指してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

当院の最大の特徴は、診療科や職種を越えたチームワークの良さです。特にがん診療の面では、診断から手術、放射線治療、化学療法、さらに緩和ケアまで、高い知識と技術を身につけたプロフェッショナルの力を集約して、患者さんを中心にした質の高い医療を提供しております。また救急医療においても、より多くの患者さんに、より早く高度の治療を提供する体制を整えております。

もうひとつの特徴は、医療の本質である「患者さんに寄り添う心」です。

心身を病んだ患者さんに少しでも癒しの環境を提供しようと、院内には木と水をイメージしたインテリアを創造し、病院でありながら病院でない安らぎの環境を醸し出しております。このような環境は私たち職員にとっても、伸びやかに自分の力を発揮し、心から患者さんに寄り添うことができる力を与えてくれます。

医学生の皆さんへ

これから医療の道を歩みだす皆さんは、社会から「良き医師」になることを強く求められています。「良き医師」にはさまざまな要素があると思いますが、まずは常に患者さんを思う心、多職種と笑顔でチームを築けるコミュニケーション能力、そして怠けなくなる心を抑えて自分を高める克己心が重要だと思います。

皆さんが「良き医師」になることを社会から求められている以上に、当院は臨床研修指定病院として「良き医師を育てる」ことを強く求められています。そのためにも病院として、さまざまな取り組みを行っています。

各診療科の医師は原則的に厚労省の指導医講習会を終了しており、熱心に指導に当たっています。EPOCに基づいて、しっかりしたカリキュラムと360度評価システムを備えています。女性医師を含む中堅医師数名をメンターに任命し、診療以外の悩みまで先輩として相談に乗っています。また女性の専従事務職員2名が、生活面まで含めてキメの細かいケアをしてくれます。

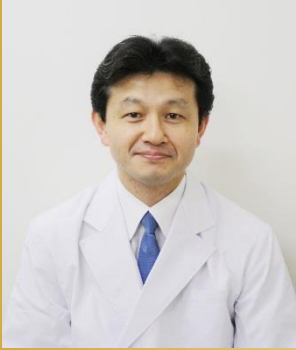
そのような環境のもとで、皆さんは「良き医師」への道を着実に歩んでいけると自負しています。臨床研修医に選ばれない病院は、患者さんにも選ばれません。臨床研修の質の高さは医療の質の高さを示す良い指標であると考え、これからも臨床研修に力を入れていきます。

臨床研修センター長

副院長 長田 秀夫

診療科 脳神経外科

2015年 入局



「3年目での独り立ち」

当院の研修目標です。その為の様々な取り組みの一端をご紹介します。

1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で最も重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。皆様の多くは3年目以降、大学病院等に進んでいきます。どこに行っても恥ずかしくない人間性を磨いて頂きます。

2. チーフレジデントの選出

2019年度から開始しました。前年度2月に1年目2年目の全初期研修医のみによる投票で選出します。院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちが更により良き研修をできるように活動していく中心的役割を担います。一方で同期によるチーフへのサポートについても注目し評価しております。

3. メンター医師制度の確立、センター長面談

初期研修医2-3人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、メンター任期を1～2年とし、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。

4. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様は2年間の研修中、埼玉医学会総会、大宮医学会総会、大宮医師会主催の他院初期研修医との 合同症例検討会などの学会発表、論文作成のほか、年2回ある院内学会、月1回の研修医症例発表会、CPC（臨床病理）検討会、等々、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会や研修医症例発表会では専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。修了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

5. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。ローテートする各科で効率よく基本的技能や知識が身につくように努めております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急、年間5,000件程度）の現場でcommon diseaseを中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

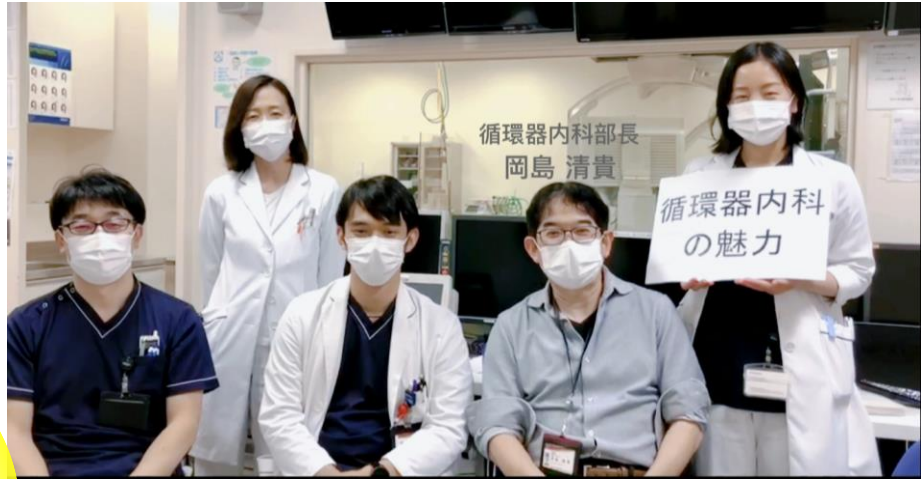
将来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。
一緒に頑張りましょう！！



**積極性とやる気をもって
活躍してほしい**



**診療科全体で
研修医を育てます**



**多職種との
関わりの中で、
自分ができる
ことはないか**



**研修医の
【やりたい】に
応えたい**





「救急科研修について」

研修医1年目

2023年度入職 東京医科大学出身

研修医として働き始めて3か月が経ちました。何が何だかわからない状態から研修を始めた私たち1年生ですが、1つ上の先輩方や指導医の先生方、他職種の方々に支えられながら少しずつ日々の業務にも慣れてきました。失敗することもまだまだ多いですが、同期と切磋琢磨しながら1つ1つ目の前のことに取り組むといった毎日を過ごしております。ここではそんな私が最初にローテートした救急科の業務内容についてご説明したいと思います。

救急科は朝8時に集合して、指導医の先生と一緒に前日に自分が担当した症例の振り返りを行います。ここでは自分が行った診察や手技、方針決定などに関するフィードバックをしていただきます。また、診療の際に時間がなくて聞けなかった質問等もここで先生が答えてくださるため、疑問がそのままになることもありません。1つの症例を通して多くのことを学ぶことが出来るため、とても勉強になります。朝のカンファレンスは症例の振り返り以外に、研修医が1日1ネタ、救急外来で使えるような知識を調べてきてそれを発表するということも行っています。ネタの内容に特に縛りはなく、私は自分の診察で不十分だったと感じたことを調べていました。そこで調べたことをその後の診察で実践する機会もあるため、非常に充実した時間となっていました。

カンファレンスが終わったら、救急外来に降りて搬送されてきた患者さんの初療を担当します。ここでは病歴聴取や診察、検査、アセスメント、コンサルトといった一連の流れすべてに関わることができます。その流れの中でチャンスがあれば動脈採血や縫合といった手技を任せて頂けることもあります。この時指導医の先生方はつかず離れずの距離で見守ってくださっており、困ったことがあったらすぐに質問することができるため、安心して診察を行えると思います。救急科でのこの指導体制は当院が掲げている「3年目の4月に独り立ち」を達成するために必要不可欠であると私は考えております。

以上が救急科の1日となっております。当院は指導体制ももちろん良いですが、それ以外にもここには書ききれないほどの多くの魅力があると私は思っています。ぜひ1度見学に来て、当院の魅力に触れてみてください。皆さんとお話できることを楽しみにしています。





「彩の国東大宮メディカルセンターの魅力」

研修医1年目

2023年度入職 順天堂大学出身

この春6年間の大学生活を終え、当院での研修生活が始まって早くも4か月が経とうとしています。右も左も分からない状態だった4月の入職時、憧れていた環境での研修が始まることへの希望はありつつもそれを大きく上回る不安で胸がいっぱいでした。入職後10日程のオリエンテーションを経て現場配置となり、そこから日々の研修の中で先生方、メディカルスタッフの方に多くのことを教えていただき、ようやく少しずつではありますが業務の流れなどにも慣れてきたのではないかと感じるこの頃です。

さて、今これを読んでくださっている医学生の皆さんの中には2年間の研修先をどのような観点から選んだらよいか考えあぐねている方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は私が考える当院の魅力についてお話したいと思います。私自身があらゆる病院の中から当院に惹かれた理由としては大きく3点あります。

1点目は救急での初期対応を学ぶことができる点です。1年目はGW明けから当直が開始し、月3,4回の頻度で上級医の先生、2年目の先輩と3人で当直に入っています。一人で突然全てを任されるわけではなく、最初は先輩が行っている問診、身体診察など救急での動き方を見て学んでいながら、徐々に実践する形で当直業務に当たっています。分からないことがあればその場ですぐに質問ができ、足りない点はアドバイスを頂けるので、不安を感じすぎることなくファーストタッチを行うことができます。当院の上級医の先生方は非常に教育熱心な方が多いので色々挑戦させてくださりつつ丁寧なフィードバックを受けられる有難さを実感しています。

2点目は指導医の先生方、研修医の先輩方、メディカルスタッフ、事務の方といった病院内で関わる全ての方が温かい環境である点です。病院全体に明るい挨拶が飛び交い心地よい雰囲気であることは毎日働くうえで大きな原動力になります。また、前述の内容とも少し重なるのですが、研修をするうえで分からないことが出てきた時にそれをきちんと聞くことのできる、そして自分の考えについてしっかりフィードバックを頂ける環境というのは大変理想的です。例えば内科の病棟業務では、まず朝出勤後患者さんの状態を他職種含めたカルテから把握し、注意して問診を行いたいポイントについて指導医の先生と共有し、朝の回診を行います。その後、処方や輸液、検査など今後の治療方針についてカルテをまとめながら自分なりに先生にアセスメントを行いつつ、指導を受けています。また栄養や処方薬、リハビリの状況などについて他職種の方からその時の状況を鑑みた提案・指導をいただくこともあり、風通しの良いチームが構築されていることを感動とともに実感しています。こんな基礎的なこと聞いてもいいのかな？と最初は躊躇いがちだった部分もありましたが、快く応えてくださるので様々な方面から多くの学びに溢れた恵まれた現場だなと感じています。

3点目は手技を積める機会が充分にある点です。手技と一言で言ってもどのようなことが自分にできるのかなと学生の頃は思っていました。具体的には当直開始前までに静脈・動脈採血、点滴ルート確保、気管挿管、尿道カテーテル、縫合、一次救命処置（BLS）の手順など一通りの手技を先生に指導・確認していただきながら練習させていただけます。また病棟業務中に、CV・PICC挿入、胸腔・腹腔穿刺、腰椎穿刺、心臓カテーテル検査、心エコー・腹部エコーなどにも上級医の先生方の監督のもと参加させていただける機会も多くあります。外科のローテーション中には胆嚢摘出、虫垂切除などの執刀も経験させていただけることもあり、このように積極性次第で勉強、手技的な面がバランスよく、多くのことが経験できるのは当院だからこその強みであると考えます。

ここまで色々書いてはきましたが、書き表せない沢山の魅力がまだまだありますし、一度雰囲気を見ていただくとより良さを知っていただけるかなと思います。少しでも興味を持ってくださった方は是非見学にお越しください！お待ちしております。





「医師としての基礎を学ぶ2年間で、 私たちと共により楽しく充実したものに してみませんか！」

研修医2年目

2022年度入職 秋田大学出身

医学生のみなさん、はじめまして。パンフレットをご覧くださいありがとうございます。
2年目研修医の視点から、1年3ヶ月間で経験した当院の研修についてお話しします。

まず、日中業務についてです。

1年目は、必須ローテート診療科である内科、循環器内科、消化器内科、外科、救急、麻酔科を2ヶ月間ずつに加えて、選択科目として私は泌尿器科を1ヶ月間ローテートしました。各科に共通するメリットとして、教育体制の充実さが挙げられます。各研修医の目標に応じて、研修医としての全科的な勉強をすると同時に、3年目以降を意識した勉強も先生方にサポートしていただきました。また、当院では専攻医がいない分、研修医が経験できる手技や症例の数も比較的多い上、細やかなフィードバックにより着実な成長を感じることができました。実際、2年目にローテートした地域医療研修では「想像以上に動ける」という実感を得ることができ、自信となりました。ぜひ3年目の独り立ちを目指して、優しく教育熱心な先生方と自由に学んでみませんか。

次に、学術活動についてです。

学術活動のサポートの手厚さも当院の魅力の1つです。当院では1年に1回以上の院内発表、学会発表が義務付けられています。私自身、元々はあまり発表が得意ではなかったのですが、指導医の先生から手厚いサポートをいただき、院内発表、学会発表、論文作成をスムーズに行うことができました。初期研修医としての学術活動の経験は、3年目以降にも大きく活かすのではないかと思います。

最後に、病院全体についてです。

何よりもこの1年間で感じたのは、研修医間のコミュニケーションの取りやすさです。人物重視で採用されていることもあり、集まる研修医は思い遣りのある人間が多く、日々快適に過ごせております。これは、当院で研修を行う大きな魅力のひとつだと思います。また、研修医同士が話しやすい環境ですので、2年目と1年目が一緒に当直に入ったり、経験した症例やそこで学んだことを研修医室で共有したりする中で、日々楽しみながら学びを得ることができます。上手いかわないことがあっても、研修医と話すことで自然と立ち直れた経験が多々ありました。

加えて、コメディカルの方々が研修医に優しいというのも当院の魅力だと思います。病院全体として、研修医を育てようという風潮があります。安心感をもちながら研修できることの貴重さを感じると同時に、チーム医療の重要性を認識できました。特に研修医の面倒をみってくれる事務員さんの手厚いサポートは、当院ならではの大きなメリットです。

簡単ですが、少しでも興味が湧いた方はいらっしゃるでしょうか。ぜひ気軽に当院へ見学に来ていただき、病院の雰囲気を感じてください。研修医一同、お待ちしております。



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

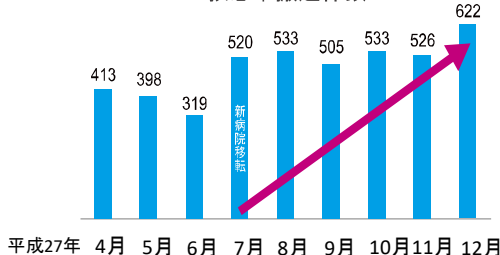
● 救急

救急搬送件数は年間約5,000件を受入れております。

1次、2次救急を中心に参加、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。新病院移転後、「救急受入れ件数」並びに「救急受入率」とともに改善が認められ、平成28年9月、令和2年9月には、埼玉県より表彰されました。

救急部の研修では、“3年次の4月1日には一人立ちできているように”を研修コンセプトのもと、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

救急車搬送件数



ER



救急初療室



ICU



ICU病床

● 院内ICLS講習会・院内JMECC講習会 開催

ICLS : 当院で開催するICLSは救急医学会認定のコースのため、学会認定の受講証を取得することが可能です。

JMECC : 内科専門研修プログラムにて必須とされている救急蘇生講習会JMECCを年1回開催しています。



彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

● 埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。



緩和ケア病棟（個室）



放射線治療（リニアック）



がん治療センター

● 指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は、厚生労働省の定める「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ、科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっています。

● メンター制度

当院では、メンター制度を取り入れ、メンター1人につき研修医2、3名を担当しています。懇親会や普段の声かけを通じ、診療科に関わらず研修全般にわたり相談・サポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有に努めています。



各メンター会の様子

● 医局・研修医室・シミュレーションセンター

2年目研修医の机は医局に、1年目研修医の机は研修医室にあります。1、2年目研修医同士のコミュニケーションの場としても研修医室を使用しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



医局



研修医室



2段ベッド（研修医室）



シミュレーションセンター

主な年間行事

4月

研修医オリエンテーション

職種を超えて一同に学ぶことで新人としての意識の統一を図ります。



6月

院内学会（年2回、6月と11月）

各診療科の医師達が相互に診療内容を把握し理解を深め、さらなる信頼と協力関係を構築するために通常の学会形式で質疑応答を含め発表を行います。



10月

AMG 大運動会

グループ病院の全職員が参加し、交流を深めます。



12月

病院忘年会

浦和ロイヤルバインズホテルで行われ、参加した500名以上の職員が一年の朗を労います。

主な年間行事

1月

AMG診療部交流会

病院の垣根を超えた診療部医師間の情報交換会



2月

大宮医師会症例検討会

自治医大さいたま、さいたま市民医療センターの研修医が集まり、代表者が症例を発表します。

埼玉県医学会総会（内科地方会 等）

院外の学会での発表を1、2年目それぞれ1回ずつ、2年間のうち論文投稿を1つ行います。



3月

修了証書授与式・新1年目研修医との顔合わせ交流会



初期臨床研修医プログラムスケジュール

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思いますと考えております。

● 研修プログラム ～3年目のひとり立ちを目指して～

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	8週		8週		8週		8週		8週		8週	
	必修		必修		必修		必修		必修		当院必修	
	内科		消化器内科		循環器内科		外科		救急科		麻酔科	
2年次	4週	4週	4週	4週	4週	4週	24週(6ヶ月)					
	必修 協力施設	必修 協力型	必修 協力型	必修 協力型	必修	調整	自由選択科目					
	地域医療 (外来研修) 外部	精神科 外部	産婦人科 外部	小児科 (外来研修) 外部	救急科	必須科目 不足した 期間を 調整する	内科、循環器内科、消化器内科、外科、救急科、麻酔科、放射線科、 整形外科、泌尿器科、脳神経外科、リウマチ内科、血液内科、眼科、 緩和ケア内科、病理診断科、皮膚科、耳鼻咽喉科 ※小児科、産婦人科、精神科、地域医療					

■ 厚労省必須

■ 当院必須

■ 研修医の希望で自由に選択することが可能。但しプライマリケアを重視し、1つの診療科に偏ることのないよう調整する。

※スケジュールの順番については、研修医同士の調整が必要であり、順不同となります。

※小児科、産婦人科、精神科、地域医療について、4週以上を希望する場合は、協力型病院との調整になります。

※一般外来…地域医療、小児科、内科研修にてカウントします。

● 協力型病院

・小児科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
独立行政法人国立病院機構埼玉病院（和光市）

・産婦人科研修

上尾中央総合病院（上尾市）
自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）
独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院（所沢市）
越谷市立病院（越谷市）
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）
東京北医療センター（東京都北区赤羽）

・精神科研修

大宮厚生病院（さいたま市見沼区）
社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター（さいたま市中央区）

・地域医療研修

平戸市民病院（長崎県平戸市）
平戸市立生月病院（長崎県平戸市）
長崎県上五島病院（長崎県平戸市）
柿添病院（長崎県平戸市）
青洲会病院（長崎県平戸市）
秩父市立病院（秩父市）
小池内科クリニック（さいたま市北区土呂町）

他にもこんなに充実!!

- モーニングレクチャー
- 研修医症例発表会
- 院内学会
- ICU勉強会
- NST研修会
- 外部講師による講演会 など

レクリエーションも・・・★



- 院内旅行・BBQ
- 上級医との交流会
- AMG大運動会
- 大忘年会



交流会

新専門医制度について

新制度においては、2年間の初期研修を終えた医師が「総合診療専門医」を含んだ19の基本領域の分野を3年間で習得し、より詳しい専門分野として「サブスペシャリティ」へと進んでいきます。

● 基幹施設 内科専門研修



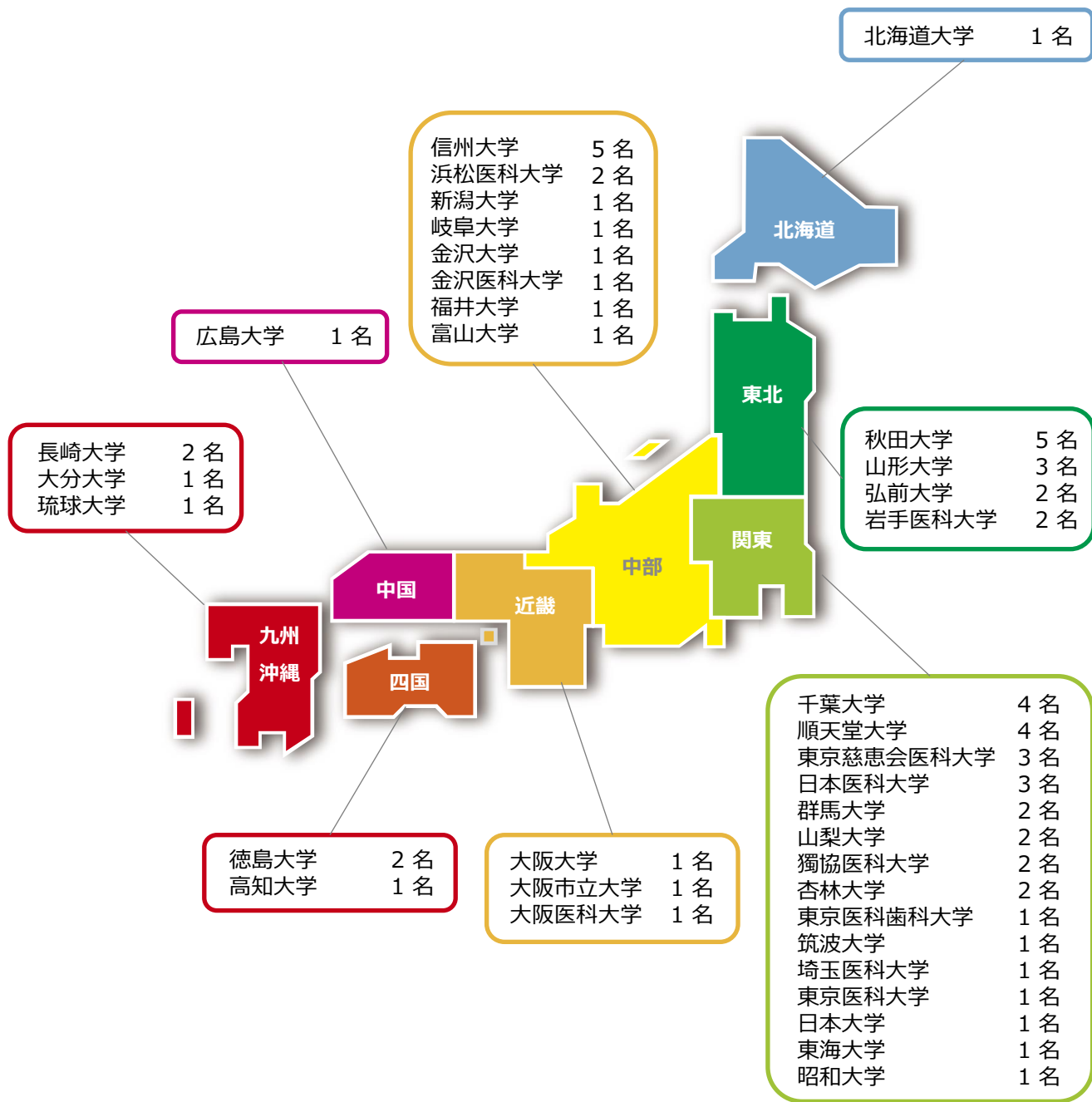
● 連携・関連施設として各基幹施設と連携しています

- ・ 外科 基幹施設：東京女子医科大学附属足立医療センター、上尾中央総合病院、自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 脳神経外科 基幹施設：防衛医科大学校
- ・ 整形外科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 泌尿器科 基幹施設：埼玉医科大学病院、上尾中央総合病院
- ・ 救急科 基幹施設：さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・ 麻酔科 基幹施設：埼玉医科大学総合医療センター
- ・ 放射線科 基幹施設：自治医科大学附属さいたま医療センター

研修医 出身大学一覧 (2014年度～2023年度)

全国各地から採用をしています。

大学別、出身地、男女比など関係なく、採用試験・面接試験により採用決定しています。



初期研修修了後の進路 (2019年度～2022年度)

	病院名	専攻科	区分	所在地
2023(R5)年3月卒	東京慈恵会医科大学附属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	東京医科大学病院	眼科	大学病院	東京都
	上尾中央総合病院	泌尿器科	市中	埼玉県
	昭和大学藤が丘病院	形成外科	大学病院	東京都
	東京大学医学部附属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	昭和大学病院東豊洲病院	小児科	大学病院	東京都
	帝京大学医学部附属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	獨協医科大学埼玉医療センター	放射線科	市中	埼玉県
2022(R4)年3月卒	済生会川口総合病院	整形外科	市中	埼玉県
	帝京大学医学部附属病院	麻酔科	大学病院	東京都
	日本医科大学付属病院	血液内科	大学病院	東京都
	日本大学医学部附属板橋病院	脳神経外科	大学病院	東京都
	弘前大学医学部附属病院	循環器内科	大学病院	青森県
	さいたま市立病院	麻酔科	市中	埼玉県
	日本医科大学付属病院	形成外科	大学病院	東京都
	さいたま市立病院	小児科	市中	埼玉県
2021(R3)年3月卒	獨協医科大学埼玉医療センター	皮膚科	市中	埼玉県
	杏林大学医学部付属病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	がん研有明病院	整形外科	市中	東京都
	横田空軍病院	一般内科	市中	神奈川県
	練馬光が丘病院	総合診療科	市中	東京都
	東京慈恵会医科大学附属病院	皮膚科	大学病院	東京都
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	整形外科	大学病院	東京都
	福岡大学病院	放射線科	大学病院	福岡県
2020(R2)年3月卒	東京大学医学部附属病院	整形外科	大学病院	東京都
	東京女子医科大学病院	泌尿器科	大学病院	東京都
	JCHO埼玉メディカルセンター	内科(腎内)	市中	埼玉県
	東京医科歯科大学病院	脳神経外科	大学病院	東京都
	順天堂大学医学部附属順天堂医院	整形外科	大学病院	東京都
	東京女子医科大学病院	泌尿器科	大学病院	東京都

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修プログラム募集要項【2024年度4月入職】

1. 応募資格

該当する年度の3月に医師免許を取得見込みの者で、且つマッチングに参加する者
当院の病院見学、またはオンライン見学に参加している者

2. 募集人数 8名

3. 採用試験の日程

① 選考日

2023年8月29日(火)、30日(水)、31日(木)

② 選考方法 : 個人面接、筆記試験(国家試験レベル) 50分

* 人物重視で選考します



4. 出願書類等

下記の書類を一括して封筒に入れ、下記提出先へ郵送してください。

- ① 彩の国東大宮メディカルセンター臨床研修医応募願書 (※指定様式 当院HP上に添付データあり)
- ② 履歴書 (必ず写真を添付してください ※指定様式 当院HP上に添付データあり)
- ③ 成績証明書・卒業(見込み)証明書
- ④ 健康診断書 (大学発行のもので可)
- ⑤ CBT成績証明書 (必須)

5. 応募締切

2023年7月31日(月) 必着

6. 書類提出先・問い合わせ先

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修センター 宛

TEL : 048-665-6111 (代表)

URL : <http://www.shmc.jp/>

E-mail: kenshui@shmc.jp

研修医の処遇

- ① 身分 : 常勤職員 (研修医)
- ② 給与 : 1年次 450,000円 / 2年次 500,000円 (月額)
- ③ 勤務時間 : 研修科によって異なる (週40時間以内)
 - (1) 内科系… 月～金 9:00～17:30 / 土(隔週) 9:00～13:00
 - (2) 外科系… 月～金 9:00～18:00 / 8:30～17:30
- ④ 休暇 : 有給休暇 (1年次 : 10日 / 2年次 : 11日)
- ⑤ 休日 : 日曜、祭日、年末年始 (12/30午後～1/3迄) あり
- ⑥ 当直 : 月4回まで 土日、日当直あり (1年次15,000円/回 2年次25,000円/回)
- ⑦ 宿舎 : 医師住宅規定により住宅を貸与する。家賃補助有り、赴任時引越し料補助 (20万円まで)
宿舎はマンションタイプ (多くの物件から選んでいただき、当院が契約を結びます (借上社宅))
- ⑧ 保険等 : 協会けんぽ・雇用保険・厚生年金・労働者災害補償保険
- ⑨ 健康診断 : 2回/年
- ⑩ 医師賠償責任保険 : 病院において加入
- ⑪ 学会・研修会等 : 参加費用有 (8万円/年)、学会休3日/年 (公休扱い)
- ⑫ 食事 : 職員食堂・コンビニ・ベーカリーあり
- ⑬ 福利厚生 : 療養費還付制度、職員旅行、保養所



車でお越しの場合



- 首都高速埼玉新都心線 「さいたま見沼」ICより約18分
- 東北自動車道 「岩槻」ICより約21分

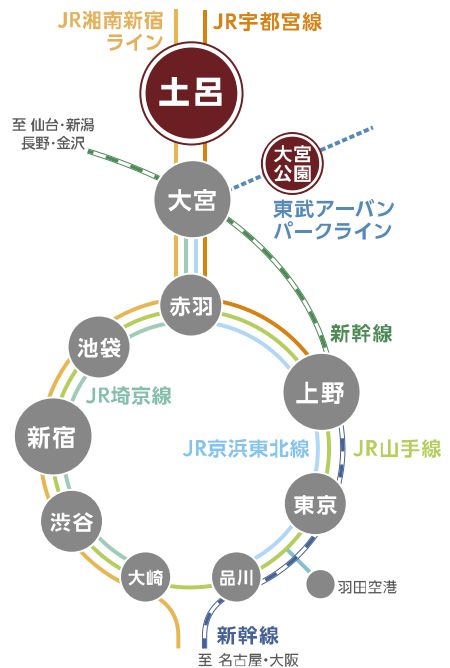
電車をご利用の場合



- JR (宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)
「土呂駅」東口より徒歩11分
- 大宮駅→土呂駅 3分
- 浦和駅→土呂駅 11分
- 久喜駅→土呂駅 17分
- 上野駅→土呂駅 30分
- 池袋駅→土呂駅 30分

- 東武アーバンパークライン (東武鉄道)
「大宮公園駅」より徒歩9分
- 大宮駅→大宮公園駅 4分
- 春日部駅→大宮公園駅 17分

※上記時間は目安としてご利用ください



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町 1522